



学校だより

令和6年3月1日(金)

3月号 No.14

横浜市立大豆戸小学校

TEL543-7911

地域と保護者と学校と

校長 田副 聡



春の訪れを待つ時期となり、中庭の梅の花もきれいに咲いています。2月23,24日には大倉山梅林で大倉山観梅(かんばい)会が開催されていました。梅の花を見に行かれた方もいらっしゃるかと思います。2月24日のTVKテレビでは、大倉山の近隣の小学校の校章が梅の花をイメージして作られたことを紹介していました。左上の大豆戸小学校の校章も、梅の花からデザインされたことが創立当初の記録に残っています。花とともに歩んでいる学校と感じた一幕でした。

さて先日、大豆戸小学校学校運営協議会が開かれました。学校運営協議会は「地域とともにある学校づくり」を目指して設置されています。地域や学校で育てたい子ども像を共有して目標実現に向けての話し合いや、支援をしてもらっています。協議会に参加されている皆さんは地域でいろいろな役割を担当されています。子どもたちが楽しんでいる盆踊りや餅つき大会に関わっている方々もいらっしゃいます。

今回は活動の一年間のまとめとして、大豆戸小学校と地域との連携の成果と課題について意見交換をしました。大豆戸小学校では今年度次の三つの目標を立てて地域連携の推進を図ってきました。

- ①横浜の時間を確立します(地域の学習材と各教科を関連させたマネジメント)。
- ②地域行事に積極域に参加し、まちを愛しまちに愛される子どもの育成を目指します。
- ③地域とともに目指す子どもの姿を共有します。

大豆戸小学校でも成果と課題が検討されました。学校運営協議会に参加された皆さんからは、成果として地域行事の中でたくさんの子どもたちが参加していたことが挙げられました。一方、地域での活動や行事で「人手不足」が悩みの種になっているという課題を話されていました。餅つき大会やいろいろな子ども会の活動の運営のなり手不足、まめっこ支援隊として日々取り組まれている「朝の旗振り交通安全指導」のなり手不足に悩まれています。

大豆戸小学校の教育活動はまめサポさんからアナウンスしてもらって、多くの保護者ボランティアの協力をもらいながら成り立っています。地域の活動も同様、多くのボランティアの協力によって成り立ちます。学校と同じように子どもを育てる活動のために、地域が皆さんの協力を求めています。案内や掲示物で参加の仕方をお知らせしていますので、一緒に子どもを育てることに皆さんのお力を貸してください。よろしくお願いいたします。